2018 年 4 月 26 日

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

（2018 年 3 月〔往航〕速報値）

（公財）日本海事センター 企画研究部

＊文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

Ⅰ.往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

（1）2018 年 3 月のアジア（18 ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比 3 ヶ月連続の増加となる 2.3%増の 119.4 万 TEU と単月では 2015 年（129.5 万 TEU）に次ぐ過去 2 番目。前年の 2017 年 3 月は前年比の伸び率（14.5%増）が 2017 年で一番高かったことや春節の影響などもあり、伸び率は 2.3%増にとどまったもののプラスを維持。1－3 月の累計では前年同期比 10.6%増の 408.8 万 TEU と過去最高を更新するとともに 400 万 TEU 超えを記録。

＊1 月は 150.0 万 TEU（11.0%増）から 149.5 万 TEU（10.7%増）に若干下方修正された。
＊2018 年の春節は 2 月 16 日となっており春節の休暇は旧暦大晦日にあたる 2 月 15 日から 2 月 21 日の 7 連休。ちなみに 2017 年春節は 1 月 27 日から 2 月 2 日の 7 連休。

（2）国別では、日本（1.2%減）、台湾（9.4%減）などは減少となったが、中国（1.5%増）、韓国（16.4%増）、ベトナム（6.6%増）、インド（14.5%増）などが増加。地域別では、ASEAN（1.0%増）、南アジア（11.3%増）ともに増加。

（3）日本は、3 ヶ月ぶりの減少となる 1.2%減の 6.1 万 TEU。品目別の 2 位（2016 年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「車両機器及び部品」（2.5%増）及び「タイヤ及びチューブ」（11.2%増）が 3 ヶ月連続の増加となったものの、1 位の「自動車部品」（1.7%減）が 2 ヶ月連続の減少となったことなどから前年比減少。

（4） 中国は、3 ヶ月連続の増加となる 1.5%増の 71.2 万 TEU。1 位の「家具及び家財道具」（4.3%増）、2 位の「繊維及びその製品」（14.0%増）及び 4 位の「おもちゃ」（2.5%増）が 3 ヶ月連続の増加。香港は 3 ヶ月連続の増加となる 3.2%増の 1.9 万 TEU。

（5）韓国は、3 ヶ月連続の増加となる 16.4%増の 7.3 万 TEU。1 位の「自動車部品」（9.4%増）が 16 ヶ月ぶりの増加、2 位の「一般電気機器」（28.3%増）が 4 ヶ月連続の増加、4 位の「車両機器及び部品」（15.9%増）が 3 ヶ月連続の増加。

（6）台湾は、3 ヶ月ぶりの減少となる 9.4%減の 4.6 万 TEU。1 位の「建築用具及び関連品」（2.4%減）及び 3 位の「家具及び家財道具」（17.8%減）が 3 ヶ月ぶりの減少、2 位の「自動車部品」（0.6%減）が 4 ヶ月ぶりの減少。

（7）ASEAN は、マレーシア（7.8%減）、インドネシア（4.2%減）、タイ（0.6%減）などが減少となったものの、ベトナムが増加となったことなどにより、全体では 23 ヶ月連続の増加となる 1.0%増の 19.7 万 TEU。ベトナムは 24 ヶ月連続の増加となる 6.6%増の 7.3 万 TEU と好調を維持。1 位の「家具及び家財道具」（24.5%増）が 24 ヶ月連続の増加、2 位の「繊維及びその製品」（0.8%増）が 7 ヶ月連続の増加、3 位の「履物及び附属品」（10.3%増）が 9

ヶ月連続の増加。

（8）南アジアは、パキスタン（6.2%減）以外が増加となったことにより全体では 12 ヶ月連続の増加となる 11.3%増の 8.5 万 TEU。インドは 12 ヶ月連続の増加となる 14.5%増の 6.4 万 TEU。1 位の「繊維及びその製品」（1.9%増）が 3 ヶ月連続の増加、2 位の「家具及び家財道具」（21.6%増）が 18 ヶ月連続の増加。

（9）品目別では、「家具及び家財道具」（寄与度 1.5%増）、「繊維及びその製品」（同 0.7%増）、「床材・ブラインド等のプラスティック製品」（同 0.3%増）、「車両機器及び部品」（同 0.3%増）などが増加に寄与。

（10）船社別では、1 位（2016 年（確定値）年計ベースの船社別順位、以下同様）の CMA-CGM + APL/NOL が 18 ヶ月連続の増加となる 18.2%増の 18.9 万 TEU（1－3 月累計のシェア：15.24%）、2 位の EVERGREEN は 3 ヶ月ぶりの減少となる 11.6%減の 11.3 万 TEU（同：9.78%）、3 位の COSCON は 3 ヶ月連続の増加となる 15.3%増の 12.8 万 TEU（注、同：10.52%）。
＊COSCON+OOCL の 2018 年 1－3 月累計は 17.41%。

邦船社では KLINE が 3 ヶ月ぶりの減少となる 19.7%減の 5.6 万 TEU（1－3 月累計のシェア：5.30%）、NYK は 3 ヶ月連続の増加となる 5.5%増の 6.4 万 TEU（同：5.21%）、MOL は 18 ヶ月連続の増加となる 3.0%増の 6.3 万 TEU（同：4.98%）。ちなみに邦船 3 社の 2018 年 1－3 月のシェアは 15.49%。

（11）中国積を船社別でみると、1 位（2016 年（確定値）年計ベースの船社別順位、以下同様）の CMA-CGM + APL/NOL が 13 ヶ月連続の増加となる 20.7%増の 12.3 万 TEU（1－3 月累計のシェア：16.06%）、2 位の COSCON は 3 ヶ月連続の増加となる 12.6%増の 9.9 万 TEU（注、同：12.94%）、3 位の EVERGREEN は 2 ヶ月ぶりの減少となる 8.2%減の 7.4 万 TEU（同：10.49%）。
＊COSCON+OOCL の 2018 年 1－3 月累計は 19.86%。

邦船社では KLINE が 2 ヶ月ぶりの減少となる 28.2%減の 3.1 万 TEU（1－3 月累計のシェア：5.18%）、NYK が 3 ヶ月連続の増加となる 16.4%増の 2.6 万 TEU（同：3.84%）、MOL は 13 ヶ月連続の増加となる 11.7%増の 2.3 万 TEU（同：3.32%）。ちなみに邦船 3 社の 2018 年 1－3 月のシェアは 12.34%。

（注）対前年同月比における前年値については、COSCON は COSCO と CHINA SHIPPING、CMA-CGM + APL/NOL は CMA-CGM と APL/NOL の合計値。

表－1　2018 年 3 月：積国・地域別荷動き

	往　航				
国 ・ 地 域	荷動量（TEU）	前年比（%）	シェア（%）	1－3 月の累計（TEU）	前年同期比（%）
18 ヶ国・地域　合計	**1,194,040**	**2.3**	**100.0**	**4,088,826**	**10.6**
日　本	**61,421**	**▲1.2**	**5.1**	**163,216**	**3.4**
韓　国	**73,342**	**16.4**	**6.1**	**194,740**	**8.6**
台　湾	**46,341**	**▲9.4**	**3.9**	**156,138**	**5.2**
中国＋香港　計	**731,141**	**1.6**	**61.2**	**2,704,263**	**11.8**
中　国	**712,197**	**1.5**	**59.6**	**2,632,972**	**12.0**
香　港	18,944	3.2	1.6	71,291	5.6
マカオ	21	▲7.1	0.0	77	7.8
ASEAN　計	**197,248**	**1.0**	**16.5**	**631,605**	**8.8**
シンガポール	8,566	14.6	0.7	24,233	8.6
フィリピン	10,947	▲12.6	0.9	30,653	▲3.4
マレーシア	23,426	▲7.8	2.0	71,275	6.5
インドネシア	31,716	▲4.2	2.7	92,888	1.5
タ　イ	43,252	▲0.6	3.6	132,475	13.8
ベトナム	**73,460**	**6.6**	**6.2**	**261,798**	**9.8**
カンボジア	5,433	42.1	0.5	16,651	39.8
ミャンマー	450	▲4.9	0.0	1,632	29.8
南アジア　計	**84,527**	**11.3**	**7.1**	**238,787**	**13.1**
スリランカ	3,911	14.9	0.3	12,107	17.2
バングラデシュ	8,274	7.1	0.7	25,331	5.1
パキスタン	8,364	▲6.2	0.7	25,100	0.7
インド	**63,978**	**14.5**	**5.4**	**176,250**	**16.1**

（注）集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEAN のうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの 8 ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの 4 ヶ国、合計 18 ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

Ⅱ. 品目別荷動き

（1）往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連 3 品目（「家具及び家財道具」、「建築用具及びその関連品」、「床材・ブラインド等のプラスティック製品」）の合計荷動き量は、3 ヶ月連続の増加となる 8.6%増の 27.8 万 TEU。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は 3 ヶ月連続の増加となる 9.4%増の 19.2 万 TEU、「床材・ブラインド等のプラスティック製品」は 13 ヶ月連続の増加となる 8.3%増の 5.1 万 TEU、「建築用具及びその関連品」は 3 ヶ月連続の増加となる 4.5%増の 3.5 万 TEU。

（2）「繊維及びその製品」は 3 ヶ月連続の増加となる 8.1%増の 11.1 万 TEU。

（3）「一般電気機器」は 5 ヶ月ぶりの減少となる 0.9%減の 8.5 万 TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は 3 ヶ月ぶりの減少となる 0.6%減の 3.1 万 TEU。

（4）「自動車部品」は 3 ヶ月連続の増加となる 4.6%増の 5.2 万 TEU、「タイヤ及びチューブ」も 3 ヶ月連続の増加となる 7.2%増の 4.1 万 TEU。

（注）「鋼材及びその製品」は 3 ヶ月連続で 10%を超える増加となる 13.5%増で 2.2 万 TEU（1－3 月の累計で 17.0%増）。「アルミ、銅などの非金属及びその製品」は 3 ヶ月ぶりの減少となる 0.2%減の 2.0 万 TEU（1－3 月の累計で 9.3%増）。

表－2　往航：2018 年 3 月の品目別荷動き（上位 10 品目）

品　目　名	荷動量（TEU）	前年比（%）	寄与度（%）	1－3 月前年同期比（%）	シェア（%）
1.　家具及び家財道具	191,555	9.4	1.5	15.3	16.0
2.　繊維及びその製品	110,847	8.1	0.7	11.7	9.3
3.　一般電気機器	84,906	▲0.9	▲0.1	11.5	7.1
4.　自動車部品	52,456	4.6	0.2	6.8	4.4
5.　床材・ブラインド等のプラスティック製品	51,439	8.3	0.3	18.2	4.3
6.　タイヤ及びチューブ	40,978	7.2	0.2	13.0	3.4
7.　車両機器及び部品	35,535	10.7	0.3	22.4	3.0
8.　建築用具及び関連品	34,927	4.5	0.1	12.9	2.9
9.　テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	30,601	▲0.6	▲0.0	15.0	2.6
10. おもちゃ	29,666	2.7	0.1	7.3	2.5

Ⅲ. 国別品目別荷動き動向

表－3　往航：2018 年 3 月の国別品目別荷動き（上位 5 品目）

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）
日本積	1位	自動車部品	15,166	▲1.7	24.7
	2位	車両機器及び部品	7,917	2.5	12.9
	3位	タイヤ及びチューブ	5,078	11.2	8.3
	4位	建設機械	4,365	17.9	7.1
	5位	テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	3,168	21.0	5.2

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）
中国積	1位	家具及び家財道具	129,503	4.3	18.2
	2位	繊維及びその製品	55,690	14.0	7.8
	3位	一般電気機器	60,793	▲1.5	8.5
	4位	おもちゃ	25,490	2.5	3.6
	5位	床材・ブラインド等のプラスティック製品	40,466	13.1	5.7

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）
韓国積	1位	自動車部品	10,425	9.4	14.2
	2位	一般電気機器	8,193	28.3	11.2
	3位	タイヤ及びチューブ	5,923	▲8.3	8.1
	4位	車両機器及び部品	4,251	15.9	5.8
	5位	レジン等の合成樹脂	3,424	20.6	4.7

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）
台湾積	1位	建築用具及び関連品	6,129	▲2.4	13.2
	2位	自動車部品	6,357	▲0.6	13.7
	3位	家具及び家財道具	3,012	▲17.8	6.5
	4位	床材・ブラインド等のプラスティック製品	2,762	▲19.7	6.0
	5位	鋼材及びその製品	2,088	17.5	4.5

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）
ベトナム積	1位	家具及び家財道具	31,946	24.5	43.5
	2位	繊維及びその製品	10,188	0.8	13.9
	3位	履物及び附属品	6,509	10.3	8.9
	4位	魚及びその調整品	1,217	8.7	1.7
	5位	コンピュータ及び半導体	1,410	▲33.9	1.9

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）
インド積	1位	繊維及びその製品	12,627	1.9	19.7
	2位	家具及び家財道具	3,673	21.6	5.7
	3位	セメント、石、砂、粘土等	2,422	▲5.1	3.8
	4位	文房具及び骨董品	2,717	24.4	4.2
	5位	鋼材及びその製品	3,304	27.6	5.2

注：2016年における各国の順位による

Ⅳ. 船社別荷動き動向

表－4　往航：船社別荷動きシェア（%）

順位	往航船社名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年1-3月	最近の推移など
1	CMA-CGM + APL/NOL	13.41	13.52	13.54	14.79	15.24	18ヶ月連続の増加
	（CMA-CGM）	6.41	7.73	7.45	7.90	8.28	
	（APL/NOL）	7.00	5.79	6.09	6.89	6.96	
2	EVERGREEN	10.23	10.42	10.78	10.33	9.78	3ヶ月ぶりの減少
3	COSCON	10.95	11.21	10.13	10.16	10.52	3ヶ月連続の増加
	（COSCO）	6.58	6.64	8.45	10.16	10.52	
	（CHINA SHIPPING）	4.38	4.57	1.68	0.00	0.00	
4	MAERSK	10.03	8.79	9.35	9.34	9.53	3ヶ月ぶりの減少
5	MSC	6.53	6.74	7.60	7.99	8.13	3ヶ月ぶりの減少
6	KLINE	5.57	5.77	5.92	5.68	5.30	3ヶ月ぶりの減少
7	OOCL	4.72	4.72	5.25	6.35	6.89	13ヶ月連続で大幅な増加
8	YANG MING	5.01	5.21	5.15	5.10	5.03	2ヶ月ぶりの減少
9	NYK	4.57	4.61	4.74	5.10	5.21	3ヶ月連続の増加
10	HYUNDAI	5.23	4.50	4.67	5.47	5.22	2ヶ月ぶりの減少
11	MOL	4.59	4.50	4.58	5.10	4.98	18ヶ月連続の増加
12	HAPAG-LLOYD	4.42	4.12	4.43	4.63	5.59	9ヶ月連続の増加
	OTHERS	14.73	15.88	13.87	9.97	8.57	6ヶ月ぶりの減少
	TOTAL	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

表－5　往航：中国積・船社別荷動きシェア（%）

中国積

順位	往航船社名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年1-3月	最近の推移など
1	CMA-CGM + APL/NOL	12.78	13.37	13.67	15.53	16.06	13ヶ月連続の増加
	（CMA-CGM）	7.49	8.88	8.40	8.99	9.24	
	（APL/NOL）	5.28	4.49	5.28	6.53	6.82	
2	COSCON	14.38	14.63	13.02	12.63	12.94	3ヶ月連続の増加
	（COSCO）	8.40	8.43	10.76	12.63	12.94	
	（CHINA SHIPPING）	5.98	6.20	2.26	0.00	0.00	
3	EVERGREEN	10.54	10.89	11.46	11.07	10.49	2ヶ月ぶりの減少
4	MAERSK	9.32	8.24	9.10	8.88	8.82	2ヶ月ぶりの減少
5	MSC	7.54	6.99	7.91	7.93	8.28	3ヶ月ぶりの減少
6	KLINE	5.65	5.96	6.09	5.66	5.18	2ヶ月ぶりの減少
7	YANG MING	5.58	5.84	5.72	5.49	5.28	2ヶ月ぶりの減少
8	OOCL	4.03	4.07	4.63	6.15	6.92	13ヶ月連続で大幅な増加
9	HAPAG-LLOYD	3.65	3.18	3.58	3.90	4.82	3ヶ月連続の増加
10	HYUNDAI	4.34	3.76	3.58	4.31	4.07	2ヶ月ぶりの減少
11	NYK	3.33	3.33	3.42	3.72	3.84	3ヶ月連続の増加
12	MOL	3.29	2.96	2.84	3.32	3.32	13ヶ月連続の増加
	OTHERS	15.58	16.75	14.96	11.42	9.98	6ヶ月ぶりの減少
	TOTAL	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

＊2014-2016年のCOSCONの数値はCOSCOとCHINA SHIPPINGとの合計値（シェア）
＊2014-2018年のCMA-CGM ＋ APL/NOLの数値は両社の合計値（シェア）
＊単位は%。順位は2016年を基準とし、2017年は暫定値。

Ⅴ. コンテナ運賃の動向

表－6　往航:コンテナ運賃の推移（2017 年／2018 年対比）

(1)EASTBOUND　　(Drewry:Container Freight Rate Insight)　　2018年4月5日

積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Shanghai	Los Angeles	2017年	20ft	1,830	1,820	1,320	1,350	1,380	1,150	1,190	1,500	1,400	1,240	1,260	1,120
(China)	(U.S.A)		40ft	2,300	2,270	1,650	1,660	1,690	1,460	1,520	1,910	1,790	1,600	1,620	1,420
		2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			40ft	1,630	1,740	1,410	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	-30.6%	-25.3%	-19.7%									
			40ft	-29.1%	-23.3%	-14.5%									
Shanghai	New York	2017年	20ft	2,840	2,660	2,380	2,240	2,180	1,920	1,990	2,290	2,020	1,670	1,770	1,700
(China)	(U.S.A)		40ft	3,570	3,420	3,000	2,770	2,720	2,420	2,520	2,910	2,500	2,150	2,270	2,130
		2018年	20ft	2,300	2,350	1,860	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			40ft	2,910	3,090	2,420	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	-19.0%	-11.7%	-21.8%									
			40ft	-18.5%	-9.6%	-19.3%									
Yokohama	Los Angeles	2017年	20ft	1,710	1,650	1,610	1,570	1,600	1,580	1,510	1,760	1,600	1,530	1,530	1,470
(Japan)	(U.S.A)		40ft	2,090	2,010	1,960	1,910	1,920	1,930	1,840	2,150	1,950	1,870	1,870	1,800
		2018年	20ft	1,550	1,600	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			40ft	1,890	1,960	1,830	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	-9.4%	-3.0%	-6.8%									
			40ft	-9.6%	-2.5%	-6.6%									
Yokohama	New York	2017年	20ft	2,810	2,920	3,050	2,680	2,860	2,680	2,440	2,750	2,490	2,310	2,280	2,410
(Japan)	(U.S.A)		40ft	3,380	3,500	3,650	3,200	3,420	3,190	2,900	3,310	2,890	2,750	2,700	2,880
		2018年	20ft	2,780	2,750	2,540	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			40ft	3,380	3,300	3,060	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	-1.1%	-5.8%	-16.7%									
			40ft	0.0%	-5.7%	-16.2%									

参考資料

表－7　米国内地域別（西岸／東岸／ガルフ）荷動きの構成比の推移

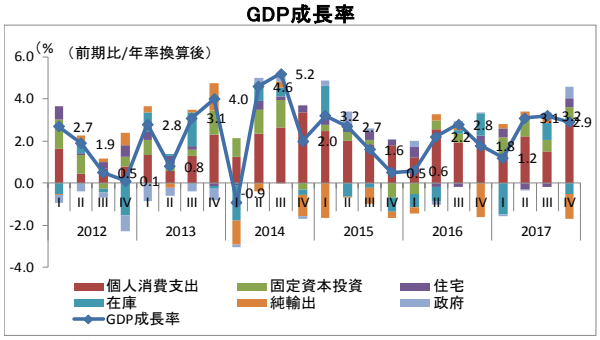
	往　航			復　航		
米国内地域 / 集計年（月）	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2015 年 2 月	60.8	35.9	3.3	58.5	37.1	4.3
3 月	65.6	32.0	2.5	56.9	38.6	4.5
4 月	65.2	31.5	3.3	58.3	37.6	4.1
5 月	65.1	31.9	3.0	60.1	35.5	4.5
6 月	64.8	32.8	2.4	58.0	38.6	3.4
7 月	64.0	33.3	2.7	60.9	35.3	3.8
8 月	67.1	30.5	2.4	63.1	33.7	3.3
9 月	64.9	32.5	2.7	57.9	38.1	4.0
10 月	64.3	33.3	2.4	60.6	36.1	3.4
11 月	66.8	30.8	2.3	59.0	37.5	3.5
12 月	64.7	32.1	3.2	59.3	36.2	4.5
2016 年 1 月	65.8	31.4	2.7	56.9	38.9	4.2
2 月	64.1	33.0	2.9	59.8	35.9	4.3
3 月	60.9	36.2	2.9	60.3	35.4	4.4
4 月	65.6	31.5	2.9	60.7	35.4	4.0
5 月	65.8	31.6	2.6	58.7	37.3	4.0
6 月	64.9	31.9	3.2	58.9	36.6	4.5
7 月	64.0	32.6	3.4	61.2	34.4	4.4
8 月	63.8	32.9	3.3	60.1	35.5	4.4
9 月	64.0	32.5	3.5	60.3	35.1	4.6
10 月	63.6	32.6	3.8	60.9	34.5	4.5
11 月	65.2	31.2	3.6	60.4	35.0	4.5
12 月	64.7	31.8	3.5	58.8	35.6	5.6
2017 年 1 月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2 月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3 月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4 月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5 月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6 月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7 月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8 月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9 月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10 月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11 月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12 月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018 年 1 月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2 月	62.3	33.7	4.0			
3 月	55.5	39.5	5.0			

（参考）荷動きに関連する米国の経済指標・動向

2018年4月作成　　米国経済：回復基調を維持

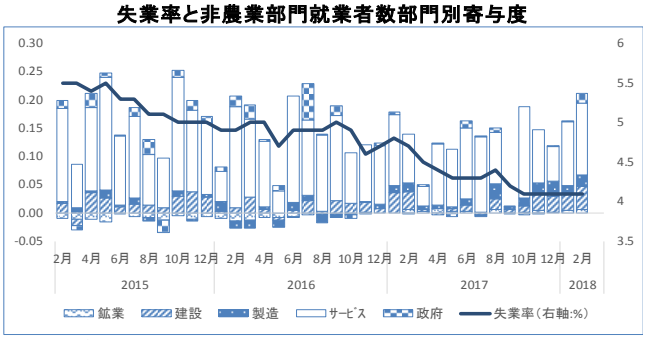
◆2017年第4四半期のGDP成長率（年率換算,確報値）は、2.9%増に上方修正。個人消費、在庫投資が上方修正。
◆2月の失業率は4.1%で5ヶ月連続で横ばい。非農業部門全体は31.3万人増。2017年後半以降建設、製造部門の雇用も伸びている。
◆鉱工業生産指数及び設備稼働率は2016年3月を底に回復基調に転じ、2018年も回復基調を維持。
◆ガソリン価格及び先行指標であるWTI価格は2014年8月以降急落していたが、2016年3月を底に上昇基調を示す。
◆2018年の住宅着工件数、および住宅販売は上昇基調を示す。
◆18年小売売上高は、個人消費を中心に伸びている。
◆2014年10月開催の連邦公開市場委員会（FOMC）定例会で量的緩和（QE3）終了に。15年12月以降段階的に利上げを実施。
17年12月のFOMCで半年ぶりの利上げを決定。次回FOMCは5月1-2日。

GDP成長率



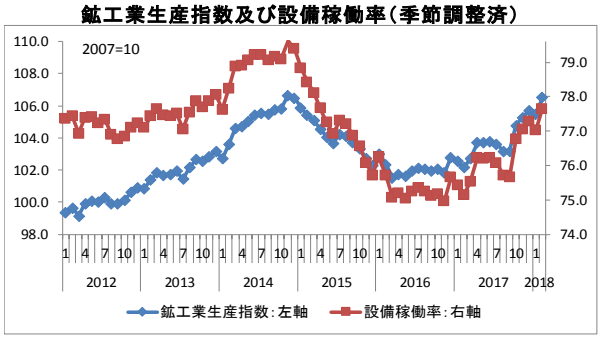
（米国商務省経済分析局）

失業率と非農業部門就業者数部門別寄与度



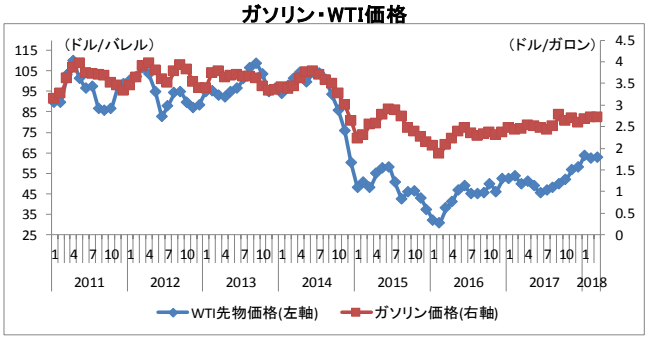
（米国労働省統計局）

鉱工業生産指数及び設備稼働率（季節調整済）



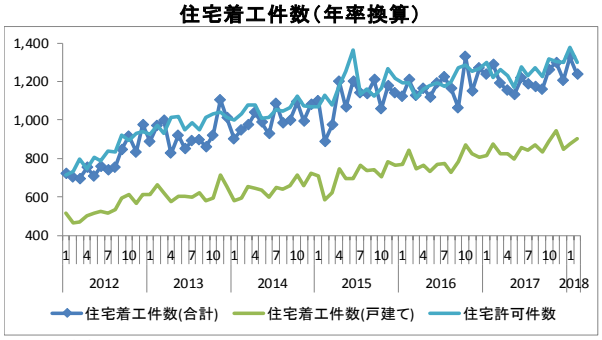
（米国連邦準備制度理事会）

ガソリン・WTI価格



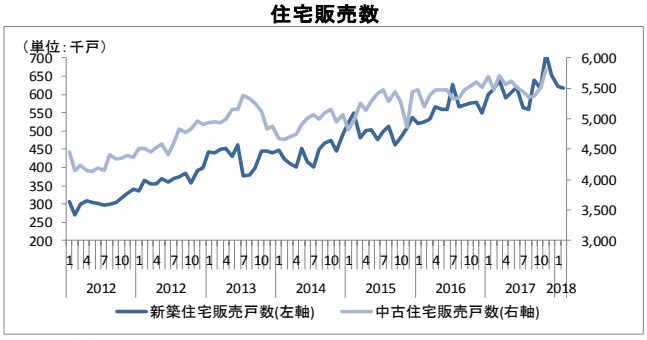
（米国エネルギー情報局）

住宅着工件数（年率換算）



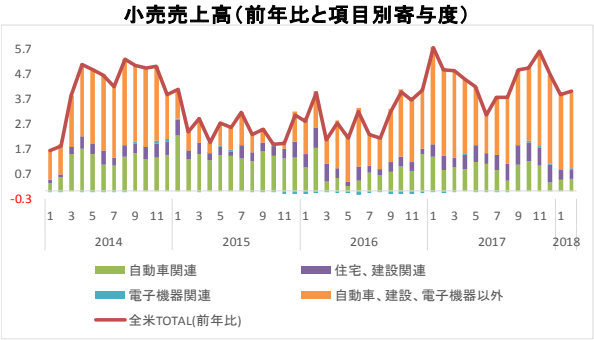
（米国商務省センサス局）

住宅販売数



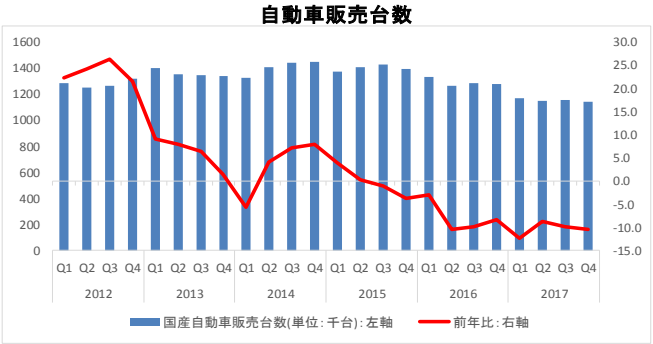
（米国商務省センサス局）

小売売上高（前年比と項目別寄与度）



（米国商務省センサス局）

自動車販売台数



（米国商務省経済統計局）

2018 年 6 月 7 日

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

（2018 年 3 月〔復航〕速報値）

（公財）日本海事センター 企画研究部

＊文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

Ⅰ.復航（米国→アジア 18 ヶ国・地域）の荷動き

（1）2018 年 3 月の米国からアジア（18 ヶ国・地域）へのコンテナ荷動き量は、前年比 2 ヶ月連続の増加となる 2.9%増の 64.1 万 TEU と過去最高を更新。1－3 月の四半期別では前年同期比 2 期ぶりの減少となる 0.9%減の 174.5 万 TEU。

（2）国別でみると、韓国（7.9%減）、中国（16.6%減）などが減少となったものの、日本（3.5%増）、台湾（18.8%増）、過去最高を更新したベトナム（66.7%増）、インド（58.2%増）などが増加。地域別では、ASEAN（35.5%増）、南アジア（50.1%増）ともに増加となり、過去最高を更新。

（3）品目別では「木材及びその製品）」（寄与度 2.4%増）、「採油用の種及び油脂」（同 1.4%増）、「繊維及びその製品」（同 1.3%増）などが増加に寄与。

国別・品目別の荷動きと寄与度

順位	国名	品目名	2017年3月	2018年3月	寄与度（%）
1位	中国	木材及びその製品	37,323	50,434	2.2
2位	中国	紙、板紙類（古紙含む）	83,686	44,878	▲6.4
3位	インド	紙、板紙類（古紙含む）	10,240	22,947	2.1
4位	中国	家具及び家財道具	12,172	13,272	0.2
5位	日本	動物用飼料	10,586	10,443	0.0
6位	中国	繊維及びその製品	11,433	9,496	▲0.3
7位	中国	動物用飼料	14,112	9,488	▲0.8
8位	パキスタン	繊維及びその製品	5,672	9,289	0.6
9位	ベトナム	繊維及びその製品	7,237	9,270	0.3
10位	中国	レジン等の合成樹脂	11,034	7,921	▲0.5
11位	韓国	動物用飼料	9,735	7,484	▲0.4
12位	台湾	採油用の種及び油脂	1,962	7,075	0.8
13位	インドネシア	紙、板紙類（古紙含む）	1,702	6,714	0.8
14位	中国	金属スクラップ	11,269	6,545	▲0.8
15位	日本	肉及びその調整品	5,283	5,818	0.1

単位：TEU

（4）日本は 3 ヶ月ぶりの増加となる 3.5%増の 7.0 万 TEU。1 位（2016 年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「動物用飼料」（1.4%減）が 4 ヶ月連続の減少となったものの、2 位の「肉及びその調整品」（10.1%増）が 2 ヶ月ぶりの増加、4 位の「野菜及び種苗類」（19.3%増）が 2 ヶ月連続の増加。

(5) 最大の入荷国である中国は、12 ヶ月連続の減少となる 16.6%減の 22.1 万 TEU。1 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む)」（46.4%減）が 18 ヶ月連続の減少、3 位の「動物用飼料」（32.8%減）が 25 ヶ月連続の減少、5 位の「金属スクラップ」（41.9%減）が 12 ヶ月連続の減少。紙・板紙（古紙を含む)、金属スクラップなどが環境規制の影響などにより減少傾向が続いている。香港は 3 ヶ月連続の減少となる 25.7%減の 2.0 万 TEU。

(6) 韓国は 2 ヶ月ぶりの減少となる 7.9%減の 5.8 万 TEU。2 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む)」(10.7%増）が 2 ヶ月連続の増加となったものの、1 位の「動物用飼料」(23.1%減）が 3 ヶ月連続の減少、4 位の「果物類」（32.3%減）が 8 ヶ月ぶりの減少。

(7) 台湾は 4 ヶ月連続の増加となる 18.8%増の 5.1 万 TEU。2 位の「採油用の種及び油脂」(260.5%増）が 4 ヶ月連続で大幅な増加、3 位の「金属スクラップ」（26.4%増）が 3 ヶ月連続で大幅な増加。

(8) ASEAN はインドネシア（13.7%増)、タイ（44.4%増)、ベトナム（66.7%増）が過去最高を更新したことなどにより、全体では 6 ヶ月連続の増加となる 35.5%増の 14.4 万 TEU。ベトナムは、4 ヶ月連続で 50%を超える増加となる 66.7%増の 3.9 万 TEU。1 位の「動物用飼料」が 4 ヶ月連続で大幅な増加。2 位の「繊維及びその製品」(28.1%増）が 3 ヶ月連続の増加、3 位の「木材及びその製品」(50.4%増）が 2 ヶ月連続の増加。

(9) 南アジアはバングラデシュ（34.0%増)、パキスタン（30.9%増)、インド（58.2%）が過去最高を更新したことなどにより、全体では 4 ヶ月連続で 30%を超える増加となる 50.1%増の 7.6 万 TEU。インドは 4 ヶ月連続で 40%を超える増加となる 58.2%増の 5.4 万 TEU。1 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む)」(124.1%増）が 6 ヶ月連続で 50%を超える増加。2 位の「繊維及びその製品」(13.7%増）が 8 ヶ月ぶりの増加、3 位の「家具及び家財道具」(34.3%増）が 2 ヶ月ぶりの増加。

(10) 船社別（2018 年 1－3 月累計（暫定値）の船社別順位、以下同様）
1 位の CMA-CGM + APL/NOL が 2 ヶ月連続の増加となる 9.5%増の 10.0 万 TEU（1－3 月のシェア：15.10%)。
2 位の MSC が 6 ヶ月連続の増加となる 13.6%の 6.8 万 TEU（同：10.75%)。
3 位の EVERGREEN が 2 ヶ月連続の増加となる 3.9%増の 6.6 万 TEU（同：10.50%)。
4 位の MAERSK も 2 ヶ月連続の増加となる 3.7%増の 6.6 万 TEU（同 10.07%)。
5 位の OOCL も 2 ヶ月連続の増加となる 51.2%増の 5.3 万 TEU（同：8.20%)。

一方、邦船社では NYK が 2 ヶ月連続の減少となる 9.9%減の 3.6 万 TEU（1－3 月のシェア：5.73%)、MOL が 3 ヶ月連続の減少となる 3.1%減の 3.2 万 TEU（同 5.43%)。K LINE も 3 ヶ月連続の減少となる 2.3%減の 2.9 万 TEU（同 4.78%)。**ちなみに邦船 3 社の 1－3 月のシェアは 15.94%。**

(11) 3 月のインバランス（往航を 100 とした場合の復航の比率）は、前月比 11.2 ポイント改善の 53.4%。インバランスを国・地域別に捉えると日本 114.2%、韓国 79.4%、台湾 110.4%、ASEAN 72.5%、南アジア 90.0%など。インバランスに最も影響を与える中国＋香港は 32.8%。

表－1　2018 年 3 月：揚国・地域別荷動き

国・地域	復航 荷動量（TEU）	前年比（%）	シェア（%）	1－3 月の累計（TEU）	前年同期比（%）
18 ヶ国・地域　合計	**641,295**	**2.9**	**100.0**	**1,744,614**	**▲0.9**
日　本	**70,127**	**3.5**	**10.9**	**191,639**	**0.3**
韓　国	**58,420**	**▲7.9**	**9.1**	**164,621**	**▲0.7**
台　湾	**51,336**	**18.8**	**8.0**	**143,513**	**11.2**
中国＋香港　計	**240,873**	**▲17.4**	**37.6**	**669,192**	**▲20.0**
中　国	**221,314**	**▲16.6**	**34.5**	**617,526**	**▲19.0**
香　港	19,560	▲25.7	3.1	51,666	▲30.6
マカオ	29	▲23.3	0.0	152	▲5.4
ASEAN　計	**144,040**	**35.5**	**22.5**	**378,488**	**25.8**
シンガポール	13,341	19.7	2.1	34,586	10.7
フィリピン	11,591	5.0	1.8	31,850	5.4
マレーシア	17,436	56.9	2.7	41,260	38.8
インドネシア	33,707	13.7	5.3	90,014	8.5
タ　イ	24,616	44.4	3.8	63,426	20.5
ベトナム	39,257	66.7	6.1	105,904	67.1
カンボジア	2,618	17.6	0.4	6,910	▲9.9
ミャンマー	1,473	165.1	0.2	4,537	47.2
南アジア　計	**76,471**	**50.1**	**11.9**	**197,009**	**44.5**
スリランカ	1,987	64.4	0.3	5,280	36.0
バングラデシュ	5,293	34.0	0.8	11,849	23.3
パキスタン	15,570	30.9	2.4	38,871	12.4
インド	**53,621**	**58.2**	**8.4**	**141,009**	**59.8**

（注）集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEAN のうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの 8 ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの 4 ヶ国、合計 18 ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、翌月以降に若干の修正が加わる場合がある。

Ⅱ. 復航の品目別荷動き

（1）復航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」は 16 ヶ月連続の減少となる 14.6%減の 9.5 万 TEU。
（2）「木材及びその製品」は 2 ヶ月連続で 20%を超える増加となる 29.3%増の 6.3 万 TEU。
（3）「繊維及びその製品」は 2 ヶ月ぶりの増加となる 18.6%増の 4.9 万 TEU。
（4）「動物用飼料」は 3 ヶ月連続の減少となる 9.6%減の 4.3 万 TEU。
（5）「家具及び家財道具」は 3 ヶ月ぶりの増加となる 3.0%増の 2.8 万 TEU。

「紙、板紙類及びその製品（古紙を含む）」の荷動き量は 2016 年ベースで 134.9 万 TEU と全品目の 19.8%を占める。なかでも中国揚の同品目は約 100.5 万 TEU と 74.5%を占める。しかしながら、同国の環境規制により輸入制限が発動される以前の 2016 年 10 月から減少基調が顕著である。

2017 年の「紙、板紙類及びその製品（古紙を含む）」の荷動き量は前年比 20.6%減の 79.8 万 TEU と 2016 年比で 20.7 万 TEU 減少。また、シェアでも 2016 年のシェアの 74.5%から 67.6%と 6.9 ポイント低下。

中国では紙・板紙（古紙を含む）の輸入減を国内の古紙回収増加とパルプでの紙の生産などでまかなっている。一方、米国からの「紙、板紙類及びその製品（古紙を含む）」はベトナムなどの東南アジア地域やインドなどの南アジア地域にシフトしている。
（参照：主要国の紙・板紙（古紙含む）の荷動きの推移）

表ー2　復航：2018 年 3 月の品目別荷動き（上位 10 品目）

品　目　名	荷動量（TEU）	前年比（%）	寄与度（%）	1ー3 月前年同期比（%）	シェア（%）
1.　紙、板紙類及びその製品(古紙含む)	94,525	▲14.6	▲2.7	▲13.0	14.7
2.　木材及びその製品	62,744	29.3	2.4	13.5	9.8
3.　繊維及びその製品	49,354	18.6	1.3	6.6	7.7
4.　動物用飼料	42,844	▲9.6	▲0.8	▲6.1	6.7
5.　家具及び家財道具	28,408	3.0	0.1	▲7.4	4.4
6.　採油用の種及び油脂	23,683	58.6	1.4	23.0	3.7
7.　肉及びその調整品	21,326	11.3	0.4	6.2	3.3
8.　金属スクラップ	20,210	0.1	0.0	5.6	3.2
9.　レジン等の合成樹脂	18,609	▲9.9	▲0.3	▲21.9	2.9
10. 果物類	17,321	▲13.5	▲0.4	1.6	2.7

Ⅲ. 船社別荷動き動向（シェア：%）

順位	復航船社名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年1-3月	最近の推移など
1	CMA-CGM + APL/NOL	13.19	14.16	13.05	15.02	15.10	2ヶ月連続の増加
	（CMA-CGM）	6.01	7.70	7.72	8.93	8.86	
	（APL/NOL）	7.18	6.46	5.34	6.47	6.25	
2	MSC	8.76	8.61	9.48	9.74	10.75	6ヶ月連続の増加
3	EVERGREEN	9.31	9.55	9.60	10.15	10.50	2ヶ月連続の増加
4	MAERSK	9.89	8.41	11.30	10.24	10.07	2ヶ月連続の増加
5	OOCL	5.85	6.28	7.01	6.83	8.20	2ヶ月連続の増加
6	COSCON	9.14	7.29	6.67	7.43	8.19	2ヶ月連続の増加
	（COSCO）	5.49	4.32	5.81	7.43	8.19	
	（CHINA SHIPPING）	3.65	2.97	0.86	0.00	0.00	
7	NYK	5.70	6.78	6.55	6.63	5.73	2ヶ月連続の減少
8	HYUNDAI	5.66	5.18	4.96	6.39	5.45	3ヶ月連続の減少
9	MOL	4.66	5.10	5.54	6.11	5.43	3ヶ月連続の減少
10	HAPAG-LLOYD	4.48	5.10	4.83	4.51	5.31	3ヶ月ぶりの増加
11	YANG MING	5.49	5.02	5.48	5.72	4.92	7ヶ月連続の減少
12	KLINE	5.63	5.76	5.69	5.33	4.78	3ヶ月連続の減少
	OTHERS	12.23	12.76	9.84	5.89	5.57	3ヶ月連続の減少
	TOTAL	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

＊2014-2016年のCOSCONの数値はCOSCOとCHINA SHIPPINGとの合計値（シェア）
＊2014-2017年のCMA-CGM ＋ APL/NOLの数値は両社の合計値（シェア）
＊単位は%。順位は2018年1-3月の累計を基準としたもの。2017、2018年は暫定値。

Ⅳ. コンテナ運賃の動向

(2)WESTBOUND　　(Drewry:Container Freight Rate Insight)　　2018年4月

積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Los Angeles (U.S.A)	Shanghai (China)	2017年	20ft	600	600	640	650	670	640	620	640	630	630	640	660
			40ft	760	750	780	780	780	760	740	750	750	750	770	770
		2018年	20ft	640	640	630	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			40ft	770	770	740	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	6.7%	6.7%	-1.6%									
			40ft	1.3%	2.7%	-5.1%									
New York (U.S.A)	Shanghai (China)	2017年	20ft	960	970	940	960	960	930	910	920	900	900	910	910
			40ft	1,180	1,200	1,170	1,180	1,160	1,120	1,090	1,110	1,080	1,080	1,090	1,090
		2018年	20ft	910	910	880	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			40ft	1,100	1,100	1,070	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	-5.2%	-6.2%	-6.4%									
			40ft	-6.8%	-8.3%	-8.5%									
Los Angeles (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2017年	20ft	820	820	800	850	850	870	860	810	830	810	850	860
			40ft	1,050	1,050	1,020	1,090	1,090	1,100	1,090	1,040	1,040	1,020	1,060	1,060
		2018年	20ft	870	880	880	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			40ft	1,080	1,090	1,090	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	6.1%	7.3%	10.0%									
			40ft	2.9%	3.8%	6.9%									
New York (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2017年	20ft	1,150	1,210	1,160	1,240	1,240	1,250	1,240	1,150	1,150	1,140	1,190	1,200
			40ft	1,430	1,510	1,470	1,570	1,570	1,590	1,580	1,460	1,460	1,440	1,440	1,450
		2018年	20ft	1,250	1,250	1,260	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			40ft	1,480	1,480	1,490	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		前年比	20ft	8.7%	3.3%	8.6%									
			40ft	3.5%	-2.0%	1.4%									

Ⅴ. 米国内地域別（西岸／東岸／ガルフ）荷動きの構成比の推移

	往　航			復　航		
米国内地域 集計年（月）	西岸揚 （%）	東岸揚 （%）	ガルフ揚 （%）	西岸積 （%）	東岸積 （%）	ガルフ積 （%）
2016 年 6 月	64.9	31.9	3.2	58.9	36.6	4.5
7 月	64.0	32.6	3.4	61.2	34.4	4.4
8 月	63.8	32.9	3.3	60.1	35.5	4.4
9 月	64.0	32.5	3.5	60.3	35.1	4.6
10 月	63.6	32.6	3.8	60.9	34.5	4.5
11 月	65.2	31.2	3.6	60.4	35.0	4.5
12 月	64.7	31.8	3.5	58.8	35.6	5.6
2017 年 1 月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2 月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3 月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4 月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5 月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6 月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7 月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8 月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9 月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10 月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11 月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12 月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018 年 1 月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2 月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3 月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3

（参考）主要国の紙・板紙（古紙含む）の荷動きの推移

集計年月	復航荷動き			紙・板紙（古紙含む）			日本			韓国			台湾		
	TEU	伸び率(%)	シェア(%)	TEU	伸び率(%)	シェア(%)	TEU	伸び率(%)	シェア(%)	TEU	伸び率(%)	シェア(%)	TEU	伸び率(%)	シェア(%)
2010年	6,257,572		100.0	1,269,037		20.3	47,318		3.7	86,916		6.8	41,886		3.3
2011年	6,714,336	7.3	100.0	1,400,908	10.4	20.9	46,109	▲ 2.6	3.3	83,839	▲ 3.5	6.0	37,496	▲ 10.5	2.7
2012年	6,721,464	0.1	100.0	1,494,469	6.7	22.2	39,229	▲ 14.9	2.6	73,612	▲ 12.2	4.9	37,244	▲ 0.7	2.5
2013年	6,868,888	2.2	100.0	1,458,933	▲ 2.4	21.2	34,748	▲ 11.4	2.4	75,005	1.9	5.1	32,492	▲ 12.8	2.2
2014年	6,666,831	▲ 2.9	100.0	1,351,673	▲ 7.4	20.3	35,369	1.8	2.6	68,551	▲ 8.6	5.1	32,463	▲ 0.1	2.4
2015年	6,385,868	▲ 4.2	100.0	1,301,663	▲ 3.7	20.4	35,027	▲ 1.0	2.7	67,655	▲ 1.3	5.2	25,599	▲ 21.1	2.0
2016年	6,814,038	6.7	100.0	1,349,477	3.7	19.8	34,494	▲ 1.5	2.6	71,352	5.5	5.3	31,281	22.2	2.3
2017年	6,795,754	▲ 0.3	100.0	1,180,813	▲ 12.5	17.4	30,701	▲ 11.0	2.6	64,392	▲ 9.8	5.5	36,486	16.6	3.1
2016年1月	495,681	11.5	100.0	113,449	27.3	22.9	2,560	46.7	2.3	5,810	3.2	5.1	2,244	33.4	2.0
2月	547,077	9.6	100.0	114,143	27.0	20.9	2,693	▲ 8.6	2.4	5,856	12.6	5.1	2,933	35.7	2.6
3月	568,128	0.3	100.0	117,062	12.8	20.6	2,547	▲ 24.9	2.2	6,328	9.6	5.4	2,389	17.5	2.0
4月	570,804	▲ 3.0	100.0	116,376	1.3	20.4	2,954	▲ 6.9	2.5	5,782	1.4	5.0	2,582	▲ 13.4	2.2
5月	575,783	▲ 3.0	100.0	119,532	1.4	20.8	3,005	▲ 13.4	2.5	5,765	▲ 7.7	4.8	2,340	▲ 11.2	2.0
6月	556,340	4.9	100.0	109,265	▲ 3.2	19.6	3,176	7.0	2.9	5,337	17.9	4.9	2,288	33.9	2.1
7月	576,316	5.2	100.0	103,951	▲ 11.0	18.0	3,149	▲ 1.1	3.0	5,833	14.3	5.6	3,086	116.7	3.0
8月	587,521	9.3	100.0	111,165	▲ 3.4	18.9	2,876	▲ 14.2	2.6	5,060	▲ 12.6	4.6	2,762	39.2	2.5
9月	565,304	13.8	100.0	110,851	5.5	19.6	2,831	▲ 2.2	2.6	6,157	19.0	5.6	2,789	55.7	2.5
10月	580,846	7.5	100.0	112,937	▲ 1.5	19.4	3,206	14.2	2.8	7,350	7.4	6.5	2,346	8.4	2.1
11月	615,879	14.5	100.0	110,935	1.7	18.0	2,983	4.1	2.7	5,910	6.6	5.3	2,850	19.5	2.6
12月	574,357	14.1	100.0	109,812	▲ 2.4	19.1	2,514	12.9	2.3	6,163	0.6	5.6	2,671	0.9	2.4
2017年1月	552,845	11.5	100.0	110,799	▲ 2.3	20.0	2,502	▲ 2.2	2.3	5,618	▲ 3.3	5.1	2,716	21.1	2.5
2月	583,325	6.6	100.0	98,549	▲ 13.7	16.9	2,864	6.3	2.9	4,463	▲ 23.8	4.5	3,075	4.8	3.1
3月	623,462	9.7	100.0	110,689	▲ 5.4	17.8	2,610	2.5	2.4	4,584	▲ 27.6	4.1	3,338	39.7	3.0
4月	549,129	▲ 3.8	100.0	87,324	▲ 25.0	15.9	2,511	▲ 15.0	2.9	3,599	▲ 37.7	4.1	2,241	▲ 13.2	2.6
5月	579,094	0.6	100.0	108,236	▲ 9.4	18.7	2,962	▲ 1.4	2.7	4,405	▲ 23.6	4.1	2,538	8.4	2.3
6月	559,254	0.5	100.0	101,447	▲ 7.2	18.1	2,678	▲ 15.7	2.6	4,415	▲ 17.3	4.4	1,886	▲ 17.6	1.9
7月	504,541	▲ 12.5	100.0	91,913	▲ 11.6	18.2	2,646	▲ 16.0	2.9	5,269	▲ 9.7	5.7	1,385	▲ 55.1	1.5
8月	539,861	▲ 8.1	100.0	97,457	▲ 12.3	18.1	2,308	▲ 19.7	2.4	5,769	14.0	5.9	1,791	▲ 35.1	1.8
9月	523,540	▲ 7.4	100.0	90,662	▲ 18.2	17.3	2,716	▲ 4.1	3.0	6,024	▲ 2.2	6.6	2,987	7.1	3.3
10月	570,704	▲ 1.7	100.0	90,081	▲ 20.2	15.8	2,380	▲ 25.8	2.6	5,538	▲ 24.6	6.1	4,603	96.2	5.1
11月	596,003	▲ 3.2	100.0	93,216	▲ 16.0	15.6	2,247	▲ 24.7	2.4	7,254	22.7	7.8	5,623	97.3	6.0
12月	613,995	6.9	100.0	100,441	▲ 8.5	16.4	2,277	▲ 9.4	2.3	7,452	20.9	7.4	4,303	61.1	4.3
2018年1月	511,385	▲ 7.5	100.0	92,446	▲ 16.6	18.1	2,372	▲ 5.2	2.6	4,763	▲ 15.2	5.2	3,772	38.8	4.1
2月	591,934	1.5	100.0	91,573	▲ 7.1	15.5	2,146	▲ 25.1	2.3	4,868	9.1	5.3	1,917	▲ 37.6	2.1
3月	641,295	2.9	100.0	94,525	▲ 14.6	14.7	2,688	3.0	2.8	5,050	10.2	5.3	2,392	▲ 28.4	2.5

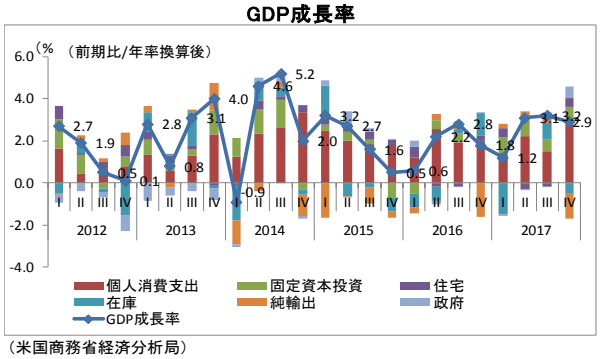
集計年月	中国			東南アジア			ベトナム			南アジア			インド		
	TEU	伸び率(%)	シェア(%)	TEU	伸び率(%)	シェア(%)	TEU	伸び率(%)	シェア(%)	TEU	伸び率(%)	シェア(%)	TEU	伸び率(%)	シェア(%)
2010年	879,288		69.3	83,332		6.6	9,295		0.7	111,760		8.8	105,050		8.3
2011年	1,005,385	14.3	71.8	73,020	▲ 12.4	5.2	11,807	27.0	0.8	129,225	15.6	9.2	121,921	16.1	8.7
2012年	1,114,883	10.9	74.6	70,909	▲ 2.9	4.7	10,830	▲ 8.3	0.7	131,649	1.9	8.8	124,846	2.4	8.4
2013年	1,102,778	▲ 1.1	75.6	61,366	▲ 13.5	4.2	7,722	▲ 28.7	0.5	136,014	3.3	9.3	128,155	2.7	8.8
2014年	1,017,950	▲ 7.7	75.3	51,630	▲ 15.9	3.8	5,458	▲ 29.3	0.4	132,236	▲ 2.8	9.8	126,443	▲ 1.3	9.4
2015年	989,163	▲ 2.8	76.0	53,353	3.3	4.1	7,337	34.4	0.6	123,321	▲ 6.7	9.5	117,624	▲ 7.0	9.0
2016年	1,005,106	1.6	74.5	66,946	25.5	5.0	8,918	21.5	0.7	135,303	9.7	10.0	127,760	8.6	9.5
2017年	797,755	▲ 20.6	67.6	92,875	38.7	7.9	29,206	227.5	2.5	147,301	8.9	12.5	138,477	8.4	11.7
2016年1月	86,347	29.1	76.1	6,502	59.4	5.7	1,561	259.1	1.4	9,626	16.3	8.5	9,202	15.1	8.1
2月	83,908	25.6	73.5	7,152	66.0	6.3	1,111	104.9	1.0	11,241	52.2	9.8	10,766	56.7	9.4
3月	86,295	10.7	73.7	6,628	44.8	5.7	617	19.2	0.5	12,431	32.7	10.6	11,886	31.6	10.2
4月	86,905	3.2	74.7	5,418	6.8	4.7	1,000	110.3	0.9	12,323	▲ 5.2	10.6	11,507	▲ 6.7	9.9
5月	90,301	2.5	75.5	5,277	15.2	4.4	1,109	132.8	0.9	12,447	2.2	10.4	11,831	1.6	9.9
6月	79,180	▲ 10.4	72.5	6,281	64.8	5.7	762	41.8	0.7	12,530	16.2	11.5	11,917	14.8	10.9
7月	76,758	▲ 15.7	73.8	5,126	13.5	4.9	615	▲ 33.6	0.6	9,580	▲ 12.0	9.2	9,199	▲ 10.6	8.8
8月	84,379	▲ 4.6	75.9	5,178	15.7	4.7	447	▲ 28.0	0.4	10,421	▲ 1.1	9.4	9,992	▲ 0.9	9.0
9月	83,001	0.7	74.9	5,557	40.7	5.0	371	▲ 9.4	0.3	10,261	26.0	9.3	9,597	23.1	8.7
10月	82,826	▲ 5.7	73.3	4,436	2.4	3.9	348	▲ 38.6	0.3	12,354	19.2	10.9	11,440	16.4	10.1
11月	81,815	▲ 0.4	73.8	4,866	4.2	4.4	497	▲ 54.3	0.4	12,030	8.9	10.8	11,312	8.7	10.2
12月	83,391	▲ 1.7	75.9	4,525	▲ 9.2	4.1	479	▲ 35.4	0.4	10,058	▲ 11.6	9.2	9,111	▲ 17.0	8.3
2017年1月	83,884	▲ 2.9	75.7	5,487	▲ 15.6	5.0	626	▲ 59.9	0.6	10,026	4.2	9.0	9,303	1.1	8.4
2月	74,613	▲ 11.1	75.7	4,224	▲ 40.9	4.3	731	▲ 34.2	0.7	8,560	▲ 23.9	8.7	7,715	▲ 28.3	7.8
3月	83,686	▲ 3.0	75.6	5,031	▲ 24.1	4.5	1,572	154.6	1.4	10,896	▲ 12.3	9.8	10,240	▲ 13.8	9.3
4月	62,022	▲ 28.6	71.0	5,894	8.8	6.7	1,610	61.0	1.8	10,418	▲ 15.5	11.9	9,667	▲ 16.0	11.1
5月	79,590	▲ 11.9	73.5	5,643	6.9	5.2	1,428	28.7	1.3	12,361	▲ 0.7	11.4	11,706	▲ 1.1	10.8
6月	74,494	▲ 5.9	73.4	6,825	8.7	6.7	1,508	97.9	1.5	10,203	▲ 18.6	10.1	9,593	▲ 19.5	9.5
7月	67,988	▲ 11.4	74.0	5,273	2.9	5.7	1,246	102.5	1.4	8,085	▲ 15.6	8.8	7,494	▲ 18.5	8.2
8月	68,530	▲ 18.8	70.3	8,688	67.8	8.9	2,563	473.6	2.6	9,568	▲ 8.2	9.8	8,830	▲ 11.6	9.1
9月	57,445	▲ 30.8	63.4	8,516	53.3	9.4	3,543	855.2	3.9	12,099	17.9	13.3	11,287	17.6	12.4
10月	44,098	▲ 46.8	49.0	14,186	219.8	15.7	5,475	1,471.4	6.1	18,431	49.2	20.5	17,523	53.2	19.5
11月	45,814	▲ 44.0	49.1	12,454	155.9	13.4	5,675	1,042.0	6.1	18,808	56.3	20.2	18,197	60.9	19.5
12月	55,592	▲ 33.3	55.3	10,655	135.5	10.6	3,230	574.8	3.2	17,848	77.4	17.8	16,921	85.7	16.8
2018年1月	47,177	▲ 43.8	51.0	9,668	76.2	10.5	2,761	341.0	3.0	22,697	126.4	24.6	21,843	134.8	23.6
2月	48,732	▲ 34.7	53.2	13,580	221.5	14.8	4,002	447.6	4.4	20,034	134.0	21.9	19,361	150.9	21.1
3月	44,878	▲ 46.4	47.5	15,102	200.2	16.0	4,049	157.6	4.3	23,644	117.0	25.0	22,947	124.1	24.3

（参考）荷動きに関連する米国の経済指標・動向

2018年4月作成　　米国経済：回復基調を維持

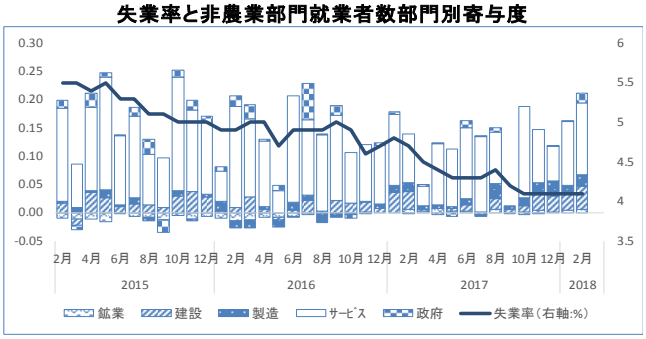
◆2017年第4四半期のGDP成長率（年率換算,確報値）は、2.9%増に上方修正。個人消費、在庫投資が上方修正。
◆2月の失業率は4.1%で5ヶ月連続で横ばい。非農業部門全体は31.3万人増。2017年後半以降建設、製造部門の雇用も伸びている。
◆鉱工業生産指数及び設備稼働率は2016年3月を底に回復基調に転じ、2018年も回復基調を維持。
◆ガソリン価格及び先行指標であるWTI価格は2014年8月以降急落していたが、2016年3月を底に上昇基調を示す。
◆2018年の住宅着工件数、および住宅販売は上昇基調を示す。
◆18年小売売上高は、個人消費を中心に伸びている。
◆2014年10月開催の連邦公開市場委員会（FOMC）定例会で量的緩和（QE3）終了に。15年12月以降段階的に利上げを実施。
17年12月のFOMCで半年ぶりの利上げを決定。次回FOMCは5月1-2日。

GDP成長率



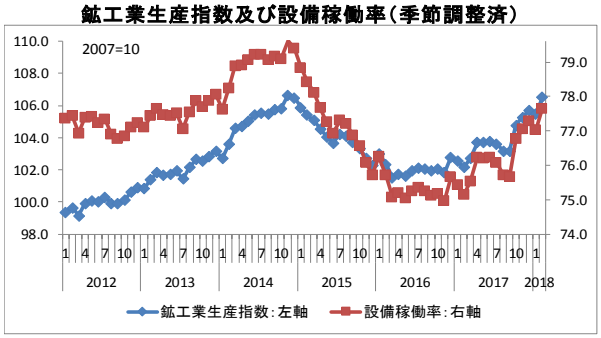
（米国商務省経済分析局）

失業率と非農業部門就業者数部門別寄与度



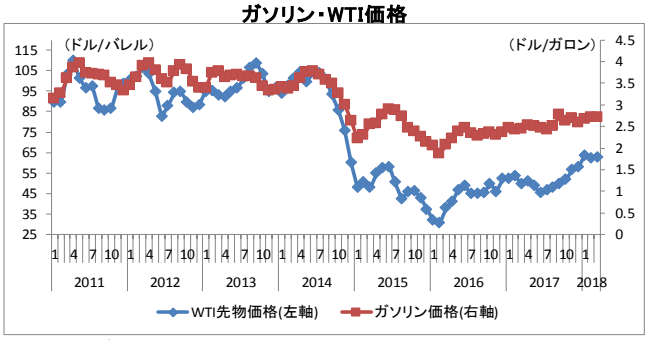
（米国労働省統計局）

鉱工業生産指数及び設備稼働率（季節調整済）



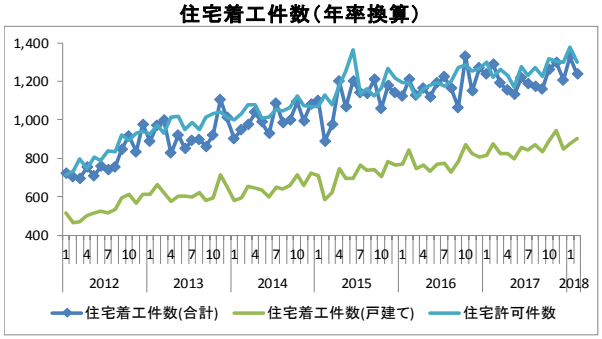
（米国連邦準備制度理事会）

ガソリン・WTI価格



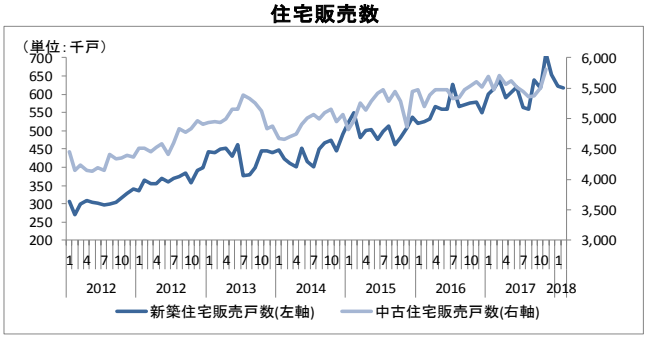
（米国エネルギー情報局）

住宅着工件数（年率換算）



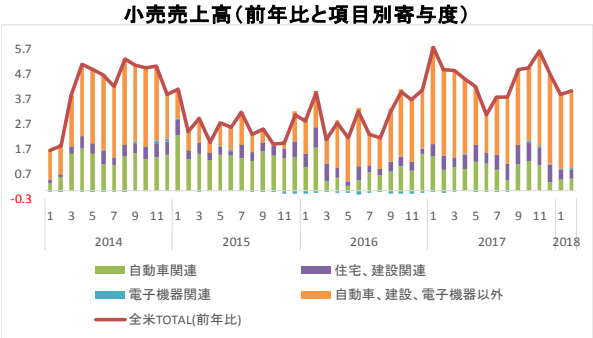
（米国商務省センサス局）

住宅販売数



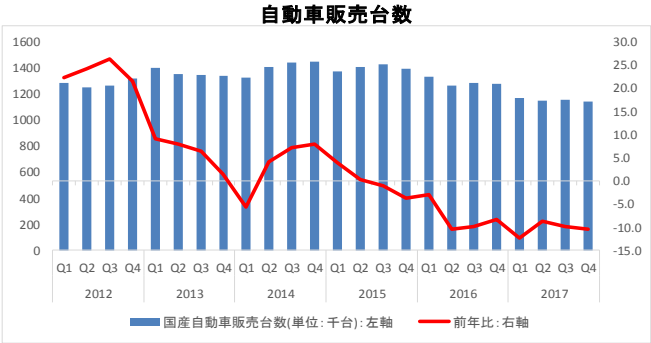
（米国商務省センサス局）

小売売上高（前年比と項目別寄与度）



（米国商務省センサス局）

自動車販売台数



（米国商務省経済統計局）